



ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

WEEKLY REPORT



2008-2009 RI会長
リー・ドンカン氏(韓国)

■承認/1991年3月8日

■例会日/火曜日・PM6:30

■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

■会長/川辺 清次

■幹事/鈴木 清詞

■会報委員長/田中 省三

第841回

2008年11月25日(火) 晴 第20回

～ロータリー財団月間～

斉唱	手に手つないで
出席	会員 71名 (出席率算入人数 67名) 出席 46名 出席率 68.66% 前々回補填率 93.94% (11月11日分)
ゲスト	米山奨学生 チャン・ティ・ハー・ニーさん

◆会長あいさつ◆

会長 川辺 清次さん

11月18日の新聞にこんな記事がありました。「愛知県内の県立高校で、授業料や教科書代を滞納する生徒が増えている。『元気な東海』の失速と経済格差拡大の背景に保護者の生活苦が原因の深刻なケースが目立つ。さらに景気の減速が進めば事態が一層悪くなるのではないかと懸念する現場の教師らが、『教育格差をこれ以上広げな』と、生徒や父母の相談に乗るホットラインを26日、27日両日に設ける」同記事によると、派遣社員として工場などで働いていた母親の仕事が急に減り、毎月3,700円の「学校納入費」を滞納した男子学生もいるということです。



バブルが崩壊して、会社経営の立場から簡単に雇用解除ができる派遣社員制度が脚光を浴びてきました社員一人に、あとは全部パート、アルバイトという業種も増えてきております。しかし不景気になってきますと、派遣社員から解雇されてしまいます。最近ではテレビなどで格差社会と報道されているわけです。

県の高等学校教職員組合は、教員や篤志家のカンパによる年5万円の奨学金を、50人から70人に増やしました。申請を受けた中には、昼食代が用意できずに、同級生に分けてもらってしのいでいる生徒もいたそうです。

ロータリーは毎年、飢餓救済、識字率向上など、世界を対象にした目標を掲げておりますが、個々のRCとしては身近なところにある問題点を認識して、できることからやっていく姿勢が必要です。

年末にかけて歳末助け合いの募金が始まります。非常に多額な金額が社会福祉法人などにばらまかれるということですが、「また金を送ってきたけれどもどうしようかな」というところもあるようです。必要なところにあげることが一番有効で、タイムリーではないかと思ってお

ります。より有効なものを、我々個人個人で選んで考える時期ではないでしょうか。

◆幹事報告◆

幹事 鈴木 清詞さん

1. ロータリーレートが12月1日から1ドル96円になります。
2. 海外出張届
三浦 隆さん 11/22～11/30 ドバイ・トルコ 商用

◆ニコボックス◆

*本日卓話です。耳障りと思いますがよろしくお願ひします。 小野 雅之さん

*今日も元気です。 水野 俊男さん

*小野さん、水野さん、卓話楽しみにしております。

加藤 英敏さん 山崎 淳さん 林 隆二さん

本多 利郎さん 川村 繁生さん 新原 尚さん

白藤 憲雄さん 水谷 誠さん 堀田 光江さん

江村 雅夫さん 大隅 紀郎さん 佐々木 眞さん

杉山 隆秀さん 伊藤 圭一さん 細井 俊男さん

鈴木 清詞さん 川辺 清次さん 長尾 浅吉さん

田中 省三さん 三島多恵子さん 鈴木 享さん

鈴木 厚司さん 山本 誠一さん 小澤 久隼さん

江上 隆夫さん 佐々木元彦さん 榊原 和美さん

野々村憲吾さん 東山 直史さん 久米 伸治さん

黒田 康正さん 平沼 里子さん 太田 敦士さん

木村 猛さん 小山 慎介さん 中村 勝さん

*小野さん、水野さん卓話よろしくお願ひします。

生野 房江さん

*先日の山本誠一さんホールインワンコンペ優勝させて頂きました。52-48でグロス100 近來にないスコアがはまった様です。ありがとうございました。

児島 徳和さん

*先週、韓国ソウルで日韓交流いけばな展で花をいけました。向こうの人たちもすばらしい花をいけられて、コンクール1位は男性でした。スバラシイ!

堀田 光江さん

本日合計 51,000円 累計 837,000円

第843回例会(12月9日)のご案内

会員卓話

◆委員会報告◆

●ロータリー財団委員会 児島 徳和さん

地区補助金申請にて、名古屋養育院にユニフォームを寄贈させていただき、皆さんのご寄付でバーベキューをやらせていただきました。それについて感謝のお便りを2ついただいております。

「先日はお忙しい中、僕たちのためにとっても楽しい会を開いてくださり、ありがとうございます。また、大変かっこいい野球とソフトボールのユニフォームをたくさんいただき、ありがとうございます。僕は今年で卒業なので、来年ユニフォームを着ることはできないのですが、僕の代わりにみんなが着て優勝してくれると思います。バーベキューはとてもおいしく、火起こしなど、とても貴重な体験ができてよかったです。僕たちのために楽しい会を本当にありがとうございました。」

「このたびは、たくさんユニフォームを寄贈していただきありがとうございます。新しいユニフォームはデザインがかっこよくて、来年から新しいユニフォームを着て試合に出られると思うとうれしい気持ちでいっぱいです。もしよろしければ、来年のスポーツ大会を見に来てください。また、バーベキューでも、おいしいお肉や野菜をごちそうしていただきありがとうございます。バーベキューでは、野菜の切り方から、火のつけ方まで、普段はやらないことを学ばせていただきました。こんな会を開いていただき、本当にありがとうございました。」

◆会員卓話◆

●水野 俊男さん

私はパラオで生まれ、父の仕事の関係で終戦少し前までパラオにおりました。そのせいか私は外国とか旅行が好きです。

昭和48年、スキー好きが20人集まりカナダにスキーに行ったのですが、当時パックスツアーはなく、大使館の交渉、切符の交渉、ホテルの交渉などを自分たちで全部済ませてカナダへ行きました。我々の時代は、「ギブ・ミー・チョコレート」とか、「青い目をしたフランス人形」などの歌を教わったものですから、外国にすごい憧れと夢を持っていました。

ホテルに着いた後、夕飯が済んだら『ペントハウス』へ行こうということになりました。行ってみるとイギリス風の3階建てのパブで、1階から3階まで全部飲み屋が入っています。反省する点はいろいろとありましたがカナダ第一日目の夜を楽しく過ごすことができました。

次の日からはウィッスラーというスキー場へ行ってスキーをやったり、吹雪いている日はレンタカーを借りてゴルフ場へ行ってゴルフをやったり、非常に楽しい旅行をしまして、名古屋へ帰ってきました。それからだんだん海外旅行が好きになり、カナダへはその後、3、4回行きました。

2回目は家族を連れて、サイパンに行きました。私のところは女家族で男は私一人ですので、サイパンへ行って家長の威厳を示そうと思いました。ホテルに着いたら「コーヒーを飲ませてやる」と、娘とお袋と女房と私とでホテルの喫茶店に行って、コーヒーを注文したんです。そうしたら、ウェイトレスがコーヒーとピーナッツを持ってきたので、いいところを見せてやろうと思い、「Service?」と言ったんです。向こうはげんなりした顔をして反応がないものですから、もう一回「Is this service?」と言いましたら、向こうはふんというような顔をしまして、「It's free.」と言って行ってしまいま



した。それで私は株を下げてしまいました。

そんな旅行もありましたが、旅行にはいろいろな楽しい経験とか、思い出がいっぱいあると思っております。

●小野 雅之さん

私がロータリーに入ってよかったと思うのは、いろいろな友達ができたことです。飲むのはもちろんですが、旅行などで家族的な付き合いができています。いろいろな会員の方にお誘いいただいて、いろいろなところに旅行に行きました。思い出深い旅行は、佐々木さんに誘われてアメリカの西海岸をシアトルからメキシコまで行ったことです。特にボーイング社を、佐々木さんのご好意で見学できたことはよかったと思います。ブラジルへも一緒でしたが、そのときは女房を同伴して、佐々木さんの奥さんも行かれて、12日くらいの長い旅でした。これも非常に素晴らしい旅行で、日本の反対側のブラジルの国を訪問したことは、すごくいい思い出になっています。

去年は水野さんとロシアへ行きましたが、これはとんでもない旅行でした。シベリア鉄道に乗ったのですが、車窓から見えるのは草原ばかり。金正日が北朝鮮からシベリア鉄道に乗ってロシアまで行ったということでした。ウラジオストックからイルクーツク、バイカル湖へ向かっての汽車の旅も、冬は極寒地ということでした。

ついこの間も水野さんとニューヨークへ行き、13日から8日間ほど美術館巡りをしました。シカゴ、ワシントン、ボストン、ニューヨークと、いろいろ回ったのですが、ワシントンのナショナルギャラリーでは、レオナルド・ダ・ヴィンチの絵とか、セザンヌ、ゴッホ、モネ、BSで評判になっているフェルメールの絵も所狭しと飾ってありました。美術館自体がものすごく広いし、作品も多くて、どこの美術館も1日ばかりでも全部はみられない。建物もものすごく立派です。地下に何百人と入れるレストランがあるので食事をして、1日そこで楽しく過ごせる。まだ建国200年そこそこなんですけど、逆にそういう国だから文化や歴史を大切にするんだなと感じました。

もう一つ、ボストン美術館にゴーギャンの絵が一枚ありました。その題は「我々はどこから来たのか？ 我々は何者か？ 我々はどこへ行くのか？」ゴーギャンが遺言の意味を込めて描いたとされる作品です。これが完成したあと自ら命を絶たしたということでした。この作品は門外不出で、ボストン美術館が一度も外へ貸し出したことがない作品です。それが来年2月、金山のボストン美術館へ貸し出されるそうです。

我々は年を取るとだんだん近場の友人とか、学生の子の友人とは疎遠になりますが、本当の友人が新しくでき、一緒に旅行ができるということは、ロータリーの素晴らしいことではないかと思っております。これからもロータリー活動を通じながら楽しい人生を過ごしたいと思っております。

